Ⅳ　文 化 財

１　令和７年度文化財保護と活用事業の計画について

①　文化財調査と指定推進

事　業　名	ね　ら　い　と　内　容
釜石市文化財保護審議会	市内に所在する文化財の適正な保護と活用を図るため、文化財保護審議会を開催し、種々の提言、助言を受ける。 ○文化財保護審議会（３回） 第１回　令和６年度文化財保護と活用事業の実施状況について 令和７年度文化財保護と活用事業の計画について 令和７年度釜石市文化財指定推進物件の取扱いについて その他 第２回　釜石市指定文化財候補物件の審議　ほか 第３回　釜石市指定文化財の指定に係る審議　ほか ○文化財パトロール 文化財保護審議会で市内文化財の現状確認を行う。
被災文化財調査事業	東日本大震災に関する被災文化財の修復・復旧について一応の落ち着きを見せている。近年、自然災害の発生が増加していることから、東日本大震災に限らず風水害等によるものも実施することとし、被災状況の確認及び復旧方法の検討を行う。 ○内容 ①釜石市教育委員会文化財課による調査 ②釜石市文化財保護審議会委員による調査 ③各種団体による調査への協力
文化財指定調査推進事業	文化財の適切な保護・保存を図るため、市内に所在する文化財について調査し、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図る。
埋蔵文化財保存事業	埋蔵文化財は、地域社会の歴史を裏づける貴重な文化遺産であり生きた学習の場を提供する。 しかし、埋蔵文化財は土地に埋蔵されていることから、容易に破壊され消滅する危険にさらされている現状にある。開発に係る遺跡破壊によって埋蔵文化財が永久に失われてしまうことを避けるため、開発行為予定地において埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内が所在する場合、試掘調査等を実施する。 また、詳細な調査が必要な箇所については緊急発掘調査（本発掘調査）を実施して記録保存を行い、埋蔵文化財の適切な保護・保存に努める。 ○内容 ①埋蔵文化財照会、②分布調査（全時代総括） ③工事立会、④試掘調査、⑤緊急発掘調査

②　文化財の保護と管理の充実

事　業　名	ね　ら　い　と　内　容
橋野高炉跡整備事業	国指定史跡橋野高炉跡（世界文化遺産　橋野鉄鉱山）の適切な保存管理を行うため、史跡整備検討委員会を開催する。 また、従前より実施してきた範囲内容確認調査を継続して実施する。 ○内容 ①史跡整備検討委員会 ②範囲内容確認調査の実施 ③現地説明会及び発掘調査速報展開催

橋野高炉跡公開・活用事業	国指定史跡橋野高炉跡（世界文化遺産　橋野鉄鉱山）の適切な保存管理を行うため、「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき整備を行う。現在は二番高炉ブロックの整備を実施している。 ○二番高炉ブロック見学路整備に伴う発掘調査 ○二番高炉ブロック見学路整備工事
指定文化財の把握	市内の指定文化財の現状把握に努める。 ○市内の指定文化財数(国・県・市）計 76 件 ・国指定文化財　3件 ・県指定文化財　7件 ・市指定文化財　66件 ○市内の国登録有形（建造物）数 ・国登録有形文化財（建造物）　1件
特別天然記念物保護処理事業	「文化財保護法」及び「特別天然記念物の管理に関する法律」の規定により、国指定の鳥獣の保護管理と滅失した時に処理を行う。 ○カモシカの保護と処理
釜石市指定文化財管理委託	釜石市指定文化財の適切な保存・維持管理を目的に、所有者（管理者）に対し管理を依頼する。 また、今後の指定文化財の管理のあり方について検討する。 ○概要 ①市指定文化財件数　66件 ②管理委託件数　71件
有形文化財や史跡、郷土芸能等の保存･伝承活動支援事業	有形文化財や史跡、郷土芸能団体等の要望等を把握し、状況に応じて支援や各種助成制度を紹介する。
文化財所蔵資料整理公開事業	文化財課で管理している文化財資料を整理し公開する。 ○内容 ①収蔵庫整理 埋蔵文化財を中心に収蔵庫の整理を行う。 ②展示公開 文化財課で管理している資料を郷土資料館に展示公開する。

③　文化財の保存と活用

事　業　名	ね　ら　い　と　内　容
出前講座事業	生涯学習まちづくり出前講座を通じて市民に郷土の歴史についての理解を促し、文化財愛護思想の高揚を図る。 ○内容 ①かまいしの縄文時代を学ぼう ②かまいしの歴史を学ぼう ③国史跡　屋形遺跡を知ろう ④土器や石碑の拓本をとってみよう ⑤郷土資料館で学ぼう ⑥昭和の暮らしを学ぼう ⑦世界遺産について ⑧鉄の歴史について
鉄づくり体験事業	鉄づくり体験（R4年度より市内全中学1年生参加）やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。

	○内容 ①鉄づくり体験 時期：７月～９月 場所：大橋（釜石鉱山敷地内） 対象：市内中学１年生 ②史跡の案内（橋野高炉跡） 時期：７月上旬～ 場所：橋野高炉跡 対象：甲子中学校 ③鉄の検定 時期：12月1日前後 場所：各小中学校ほか 対象：小中学生
屋形貝塚保存活用事業	令和３年３月26日に国史跡に指定された屋形遺跡について、今後の整備・活用の方法を専門家委員会において検討し進めていく。併せて、展示や見学など周知活動を行い、郷土の歴史を学ぶ場としての活用を目指していく。 ○内容 ①屋形遺跡史跡整備検討委員会 時期：11月（予定） 場所：釜石市市民交流センター ②保存のための範囲内容確認調査 時期：７～８月（予定） 場所：屋形遺跡（唐丹町大石） ③子どもや市民への周知活動・発掘体験や講座 時期：10月（予定） 場所：屋形遺跡（唐丹町大石）ほか 対象：小中学生、一般市民

④ 文化愛護思想の高揚

事　業　名	ね　ら　い　と　内　容
文化財標柱設置事業	市内に点在する文化財や伝承される文化財を、市民に周知し、保護・保存の意識を促すことを目的に標柱・説明板を設置する。 ○作製設置予定箇所 作製・設置：文化財看板（屋内）、新道峠（通称：清水峠）の庚申塔ほか
文化財なんでも体感事業	市内各所に所在する文化財を活用し、市民に郷土の歴史への理解を促す。また、この事業を契機に、文化財愛護思想の高揚を図る。 ○史跡巡り 『戦後80年　戦争の記憶をつなぐ～高校生の説明で戦争の記憶を振り返りませんか？～』 ・事業名　「高校生とめぐる釜石の戦跡（戦争遺構）」 ・開催日時　令和７年７月21日（月・祝日）9時～12時 ・開催内容　高校生が市内の戦跡を案内
文化財公開事業	市内の文化財を公開し、市民が郷土にある貴重な資料に触れる機会を創出する。そのなかで郷土の歴史や文化財の重要性、保護の必要性を認識していただくとともに、郷土愛を育む。 有形文化財展と郷土芸能祭と隔年で実施する。

	○第27回釜石市郷土芸能祭 　開催年月日：令和８年２月８日（日） 　開催場所　：釜石市民ホール TETTO 　　※有形文化財公開事業と隔年で実施 ○文化財保護審議会第二専門部会 　時期：10、11 月（予定） 　場所：市役所会議室
歴史はっけん事業	令和６年７月に文化庁長官の認定を受けた釜石市文化財保存活用地域計画に基づき、地域に残る歴史・文化財の掘り起こしを行うとともにその活用を図る。調査については、学術機関などと連携し、市内に残る古文書やお祭り、食文化の調査を実施する。なお、本事業は『かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業』(新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金)）の一部となる。 ○内容 『かまいし歴史文化活用プロジェクト』 　①「戦後80年　釜石と戦災～未来に伝えるために～」 　　・開催日：令和７年８月３日（日） 　　・会場　：釜石市民ホール TETTO　ホール A・B 　　・内容　：映画上映会「廃墟と化した鉄の町 釜石艦砲射撃の記録」 　　講演会（秋元厚子さん・小暮聡子さん） 　　パネルディスカッション 　　艦砲戦災関係資料パネル展示 　②岩手県指定講演会「三浦命助と三閉伊一揆」 　　・開催日：令和７年９月14日（日） 　　・会　場：釜石 PIT 　　・講師　：兼平賢治氏（東北学院大学教授） 　　・内容　：令和７年４月11日付けで三浦命助関係資料が岩手県指定文化財となったことを記念して実施する。 　③地域歴史文化教育に関するアンケート 　・期間：令和７年５月15～30日 　・対象：市内小中学校（小学校9校・中学校5校） 　・目的：地域歴史文化教育の現状を把握し、歴史文化を生かした施策を検討するため 　④古文書調査 　　調査史料：野田家文書・佐野家文書・菊池家資料ほか 　　内容：史料目録の作成、写真撮影等を行う。 　　※そのほか市内古文書調査を実施 　⑤文化財調査 　　内容：市内文化財の悉皆調査　　ほか 『かまいしの食文化はっけん事業』 　①食文化悉皆調査 　　・目的：市内に残る食文化を把握するため 　　・対象：市内有識者 　②食文化に関する講演会 　　・開催日：未定 　　・会場　：未定 　　・目的　：食文化の普及啓発のため
みんなで伝える郷土芸能体験事業	郷土芸能の継承につなげるため、子どもたちを中心に郷土芸能を体験する機会を提供する。また、郷土芸能の伝承活動を支援するため、郷土

	芸能の映像を記録保存する。なお、本事業は『かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業』（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））の一部となる。 〇内容 『みんなで伝える郷土芸能トライアル』 ①郷土芸能団体アンケート調査 ・期間：令和７年５月16～30日 ・対象：市内郷土芸能団体（43団体） ・目的：市内郷土芸能団体の現状を把握するため ②郷土芸能体験教室 ・開催日：令和７年８月11日（祝日・月） ・会　場：釜石市民ホール TETTO　ホール B ③郷土芸能等映像記録保存会 ・開催日：令和７年10月26日（日） ・会　場：釜石市民ホール TETTO　ホール A

⑤ 学びの場を充実するための事業

事　業　名	ね　ら　い　と　内　容
郷土資料館管理運営事業	釜石の歴史と文化や風土、また戦災や津波といった災禍を乗り越えてきた先人の姿と教訓を未来に伝えていくとともに、資料館の役割と方向性を見据え、時代に沿った生涯学習に役立てる「文化とのふれあいの場」としての運営を図る。 〇主な事業 ・収蔵資料を適切に保存・管理し、展示公開などで有効活用を図る。 ・各種企画展を開催する。 ①収蔵資料展、②艦砲戦災展、③鉄の週間事業展、④季節資料展 ・かまいし歴史學講座の実施。
郷土芸能伝承館維持管理	郷土芸能の伝承活動を行う施設について維持管理を行う。 対象施設：海の伝承館(浜町)、中村郷土芸能どんがた館(橋野町)

２　管内指定文化財

令和７年４月 11 日現在

分　類	名　称	指定区分	員数	指定年月日	所在地
有形文化財 （建造物）	アーチ橋梁 （１号橋･２号橋）	有－14	１組	昭和55年３月28日	（市道甲子1号線） ・甲子町上ノ橋上流（1号橋） ・甲子町15-24-2（2号橋）
有形文化財 （美術工芸品）	聖観音銅像	有－２	1	昭和45年２月20日	大只越町１－１－１ （石応禅寺境内）
	刀 銘 新藤源義國	県指定	1	昭和53年４月４日	
	木造十一面観音立像	県指定	1	平成24年11月13日	鵜住居町13-27 （鵜住居観音堂）
	脇差 銘 奥刕南部栗林住神清照	有－３	1	昭和53年11月28日	
	槍 銘 奥州南部神清照作	有－４	1	昭和53年11月28日	
	懸仏	有－５	1	昭和53年11月28日	
	細布	有－６	1	昭和53年11月28日	
	脇差 銘 應貫洞長章需盛岡住山内國多以巖鉄造之　萬延元年二月日	有－15	1	昭和55年３月28日	
	懸仏	有－16	1	平成10年７月30日	
	懸仏	有－17	1	平成10年７月30日	
	尾崎神社の鋳鉄製宝剣	有－22	1	平成24年11月28日	浜町３-23-27
	釜石製鐵所山神社鉄製扁額	有－23	1	平成24年11月28日	桜木町１－５－１
	本郷の半鐘	有－24	1	平成24年11月28日	唐丹町
	尾崎神社鋳鉄製扁額	有－25	1	平成25年12月24日	浜町３-23-27
	懸仏鉄造聖観音坐像	有－26	1	平成25年12月24日	甲子町第14地割
	白牛頭天王神社鰐口	有－27	1	平成27年３月26日	橋野町第15地割 白牛頭天王神社
	制札（天和・明和・捨馬）	有－10	３枚	昭和53年11月28日	
	正一位尾崎大明神扁額	有－18	1	平成10年７月30日	浜町３-23-27
	天照御祖神社奉納額三面（和歌・狂歌・俳句）	有－20	３面	平成22年２月25日	唐丹町字片岸50-２
	熊野神社俳句奉納額	有－21	１面	平成22年２月25日	唐丹町字荒川86-３

	南部領平田村仙台領唐丹村境絵図	有－７	２幅	昭和53年11月28日	
	釜石新道図	有－８	1	昭和53年11月28日	鈴子町15-２ (釜石市郷土資料館)
	文政十三年石応寺境内図及び幕末ころの釜石湊絵図	有－９	２幅	昭和53年11月28日	大平町３-12-７ (市立鉄の歴史館)
	徳治の碑	有－１	1	昭和45年２月20日	大只越町１－１－１ (石応禅寺境内)
	紙本両鐵鉱山御山内並高炉之図	県指定	２巻	昭和49年２月15日	鉄の歴史館
	星座石	(有－11) 県指定-179	1	(昭和53年11月28日) 昭和60年12月27日	唐丹町字大曽根237-２
	陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑	(有－11) 県指定-179	1	(昭和53年11月28日) 昭和60年12月27日	唐丹町字大曽根237-２
	嘉遯翁遺愛碑	有－13	1	昭和53年11月28日	唐丹町字大曽根237-２
	大橋磁石岩絵図	有－19	1	平成18年２月24日	野田町３-11-15
	三浦命助関係資料35点	(有－28) 県指定	1	(平成27年３月26日) 令和７年４月11日	栗林町３
	仮宿三貫嶋神社鰐口	有－29	1	令和２年２月25日	鵜住居町13-79-２
	釜石鉱山山神社山神碑	有－30	1	令和２年２月25日	甲子町第１地割80
	鮭供養碑	有－31	1	令和３年３月25日	両石町第３地割
	葛西昌丕墓碑	有－32	1	令和５年３月23日	唐丹町字大曽根
	新道峠（通称：清水峠）の庚申塔	有－33	1	令和７年３月26日	唐丹町字片岸
民俗文化財 (無形民俗文化財)	丹内神楽	無民－１	1	昭和48年２月27日	栗林町
	常龍山御神楽	無民－２	1	昭和55年３月28日	唐丹町
	沢田鹿踊	無民－３	1	昭和55年３月28日	栗林町
	釜石虎舞(片岸虎舞)	無民－４	1	平成10年７月30日	片岸町
	釜石虎舞(両石虎舞)	無民－５	1	平成10年７月30日	両石町
	釜石虎舞(錦町虎舞)	無民－６	1	平成10年７月30日	浜町３丁目
	釜石虎舞(尾崎町虎舞)	無民－７	1	平成10年７月30日	浜町２丁目
	小川鹿踊	無民－８	1	平成24年11月28日	甲子町
	釜石虎舞(鵜住居虎舞)	無民－９	1	平成24年11月28日	鵜住居町
	南部藩壽松院年行司支配太神楽	県指定	1	平成25年４月５日	只越町

	東前太神楽	無民－10	1	平成25年12月24日	東前町
	本郷伊勢神楽	無民―11	1	平成28年４月28日	唐丹町字大曽根、本郷
	砂子畑鹿踊	無民―12	1	平成29年３月29日	栗林町
	神ノ沢鹿踊	無民―13	1	平成29年３月29日	鵜住居町
有形文化財 (有形民俗文化財)	オシラサマ(慶長年紀)	民－１	２体	昭和53年11月28日	
	オシラサマ(元和年紀)	民－２	２体	昭和53年11月28日	
	鍛冶神掛図	民－３	1	平成18年２月24日	
記念物 (史跡)	橋野高炉跡	国指定	1	昭和32年６月３日	橋野町２-15
	女坂石の証文	史－１	1	昭和53年11月28日	大字釜石16-131
	児島大梅の句碑	史－２	1	昭和53年11月28日	橋野町21-７-７
	栗林銭座跡	(史－３) 県指定史-39	1	(昭和53年11月28日) 昭和62年３月６日	栗林町24-157-２
	本郷御番所跡	史－４	1	昭和53年11月28日	唐丹町字本郷108
	平田御番所跡	史－５	1	昭和53年11月28日	大字平田３-13
	石塚峠の藩境印杭	史－６	1	昭和62年３月27日	唐丹町字大曽根86
	牧庵鞭牛隠居屋敷跡	史－７	1	平成元年４月27日	橋野町34-46-１
	石塚峠の七里塚	史－８	1	平成７年３月30日	唐丹町字大曽根32、33、36番
	女坂の一里塚	史－９	1	平成７年３月30日	大字平田３-60-１
	定内の一里塚	史－10	1	平成７年３月30日	野田町１-３-14
	釜石鉱山田中製鐵所栗橋分工場跡	史－11	1	平成25年12月24日	橋野町第39地割
	屋形遺跡	(史－12) 国指定	1	令和３年3月26日	唐丹町字屋形
記念物 (名勝)	瀧澤神社奥の院と沢桧川	名－１	1	平成19年３月29日	橋野町32-135、39-49、周辺河川
記念物 (天然記念物)	三貫島ｵｵﾐｽﾞﾅｷﾞﾄﾞﾘ及びﾋﾒｸﾛｳﾐﾂﾊﾞﾒの繁殖地	国指定	1	昭和10年12月24日	箱崎町４-76
	和山のシナノキ	天－１	1	昭和44年８月22日	橋野町14-16
	古里の御神楽スギ	天－２	1	昭和44年８月22日	橋野町27-40

	明神かつら	天－３	1	昭和48年２月27日	栗林町19-86
	外山のエゾエノキ	天－５	1	昭和62年３月27日	鵜住居町30-33
	峠のスギ	天－６	1	平成16年１月27日	大字平田９-72-２、同９－１－１
	上栗林のサクラ	天－７	1	平成19年３月29日	栗林町４（上栗林集会所の東脇）
	箱崎神社境内林	天－８	1	平成23年２月24日	箱崎町第５地割（箱崎神社境内）
	女遊部のトチノキ	天－９	1	令和３年３月25日	両石町第４地割（女遊部）
	大沢川流域の古生界化石産出露頭群	天－10	3地点	令和６年３月27日	・千丈ヶ滝層露頭 栗林町第24地割地内 ・小川層露頭 栗林町第23地割地内 ・栗林層露頭 栗林町第23地割地内

３　管内登録文化財

令和７年４月１日現在

分　類	名　称	員数	指定年月日	所在地
国　登録有形文化財（建造物）	旧釜石鉱山事務所	1	平成25年６月21日	甲子町第１地割90-２